

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	48	学校名	静岡県立藤枝北高等学校	校長名	貝瀬 佳章
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	学ぶ意欲を引き出し、基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かると答える生徒の割合 85%以上 ・授業で力がついたと答える生徒の割合 85%以上 ・授業や学習に積極的に取り組んでいると答える生徒 85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かると答えた生徒の割合 86.8%、授業で力がついたと答えた生徒の割合 90.0%、授業や学習に積極的に取り組んでいると答えた生徒の割合 86.0%で全ての成果目標を達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・おむね達成できたが、自主的な家庭学習等の取り組みを向上できると更に良い。 ・各系列で魅力的な授業を行っており、生徒も満足している。積極的に楽しく実習を行っている姿が見られた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を目的とした教員研修の回数 年2回以上 ・全教員が研究授業を参観する回数 年1回以上 ・先生は「教え方」や「教材」に工夫をしていると答える生徒の割合 75%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は2回（7月に総探、11月に学習評価）実施した。 ・6月3日～6月21日を「授業公開週間」に設定し、授業見学しやすい環境とした。 ・先生は「教え方」や「教材」に工夫をしていると答えた生徒の割合 84.8%で目標を達成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に総合的な探究の時間、11月に学習評価にもとづく授業改善の活用の研修を実施した。 ・「授業公開週間」に新規採用職員及び教育実習の研究授業を設定し、授業参観しやすい環境を整えた。 ・ICTを授業に活用することもかなり浸透している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の本の貸出冊数 年間1400冊以上 ・年間読書冊数5冊以上の生徒の割合 50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の貸し出し冊数 1438冊。 ・年間読書冊数 5冊以上 51%。（ともに12月末時点） 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数、読書冊数ともに目標を達成することができた。図書委員会による利用促進活動を継続し、さらなる改善する。
イ	キャリア教育を充実させることにより、生徒一人一人が希望する進路の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望達成率 100% ・「藤北ドリカムノート」を活用し、自己の目標達成に向けて頑張っていると答える生徒の割合 60%以上 ・進路について考えていると答える生徒の割合 85%以上 ・「産業社会と人間」の時間が充実していると答える生徒の割合 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望は100%達成。 ・「藤北ドリカムノート」を活用し、自己の目標達成に向けて頑張ったと答えた生徒の割合 46.1%。 ・進路について考えていると答えた生徒の割合は82.4%。 ・「産業社会と人間」の時間が充実していると答えた生徒の割合 77.7%で目標達成。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は自分の目標を追及する者が多く、就職、進学ともに様々な分野への進路決定がなされた。 ・ドリカムノートは担任との意思疎通等で有効活用している生徒がいるものの、利用率は年々低下している。本校のキャリア教育が文部科学大臣表彰を受賞したことを好機に、目標設定ツールとしての認識を高めさせるなど活用を促進していきたい。

ウ	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図るとともに、心身の健康を維持・促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつがしっかりできていると答える生徒の割合 90%以上 ・服装や身だしなみがしっかりできていると答える生徒の割合 90%以上 ・学校生活が充実していると答える生徒の割合 85%以上 ・部活動が充実していると答える生徒の割合 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつがしっかりできていると答えた生徒の割合 95.5%。 ・服装や身だしなみがしっかりできたと答えた生徒の割合 97.7%。 ・学校生活が充実していると答える生徒の割合 89.9%。 ・部活動が充実している答えた生徒の割合 83.4%。 ・全て目標を達成。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に挨拶ができる生徒が増えているが、さらに良い習慣を育てるために指導が必要である。 ・TPOに応じた学校生活を送れるように一貫性のある指導を継続していく必要がある。 ・生徒の多くが学校生活を楽しくしており、授業と行事のバランスも良好であるが、充実感をより深めるためには、表面的な楽しさだけでなく、学校生活全般にわたる意義ある取り組みを促進する必要がある。 ・部活動の充実度は昨年度より向上しており、多くの生徒が参加意識を持って取り組んでいるが、一部で活動日数や内容の不足が問題となっており、改善が必要である。
		・保健だよりの発行回数 年 8 回以上	・保健だよりは 12 月に第 8 号を発行した。	A	・計画通り実施でき、生徒の健康維持・増進に寄与できている。
		・学校は悩みの相談にきちんと対応してくれていると答える生徒の割合 80%以上	・学校は悩みの相談にきちんと対応してくれていると答える生徒の割合 78.9%であった。	B	・相談室の対応は一定の評価を得ているものの、昨年度に比べ満足度が低下している点が大きな課題である。また、相談室の利用率や生徒へのアプローチ方法に改善の余地がある。
エ	総合学科における魅力的な実新学教育を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が充実していると答える生徒の割合 85%以上 ・資格取得や検定合格等にむけて意欲的に取り組んでいると答える生徒の割合 60%以上 ・外部人材を活用した授業等の回数 年 30 回以上 ・「総合的な探究の時間」が充実していると答える生徒の割合 60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が充実していると答える生徒の割合 89.9%。 ・資格取得や検定合格等にむけて意欲的に取り組んでいると答えた生徒の割合 75.7%で目標達成。 ・外部人材を活用した授業等は 37 回の実施。 ・「総合的な探究の時間」が充実していると答えた生徒の割合 75.3%で目標達成。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得は農・工・商だけでなく、英語や漢字の検定にも力を入れている。 ・外部人材活用授業は回数では目標に至らなかったが、専門機関や企業、上級学校など様々な外部人材を活用している。 ・総合的な探究の時間は、学年主任中心に実施して 3 年経ち目標を達成することができた。今後教務課で継続していく。

様式第3号

オ	防災教育、安全教育、環境教育の充実を図る。	・防災関連の学校行事を年3回以上実施する。	・防災関連の学校行事を4回(防災訓練2回、防災講話、被災地訪問報告会)実施した。	A	・校内での訓練や講話を実際の場面で活かせるような取り組みにしていきたい。
		・自転車交通事故年15件以内 ・自転車安全カード取得枚数60枚以内	・自転車交通事故は13件であった。 ・自転車安全カード取得枚数129枚であった。(ともに12月末現在)	C	・生徒の交通ルール遵守意識は98.1%と高いものの、交通事故件数は少なくない。地域や警察との協力し、より実効性のある安全教育を進めることが必要である。
		・掃除にきちんと取り組んでいると答える生徒の割合90%以上	・掃除にきちんと取り組んでいると答える生徒の割合97.9%で目標達成。	A	・生徒は前向きに清掃活動を行っているが、さらに主体的に取り組めるよう促したい。
カ	広報活動の推進を図り、保護者・地域との連携を深める。	・ホームページ更新回数週3回以上	・ホームページ更新は週3.2回実施で目標達成できた。	A	・新ホームページの運用開始を好機に更新内容を更に充実させたい。
		・一日体験入学参加・授業公開日におけるアンケートで「満足している」と回答する生徒・保護者の割合80%以上 ・PTA総会への保護者の出席率30%以上	・一日体験入学参加・授業公開日におけるアンケートで「参考になった」と回答した割合は、中学生78%、保護者の割合79%。 ・PTA総会への保護者の出席率24.2%であった。	B	・中学生一日体験入学、授業公開日のアンケート結果は目標に達しなかったが、昨年度より多くの生徒・保護者が参加した。さらに満足度を上げられる内容を検討していく。 ・PTA総会の出席率は目標を下回ったが、PTAの役員は積極的に活動に参加している。
キ	学校事務の適正な執行を図る。	・仕事の効率化と業務の見直しを図っていると答える事務職員の割合70%以上 ・学校経営予算の執行率1月末80%以上	・仕事の効率化と業務の見直しを図っていると答えた職員の割合17%。 ・契約(支出負担行為)済も含め、80%は達成する見込みである。	B	・「仕事の効率化と業務の見直しを図ろうとしている」まで入れると83%である。 ・年度末に向けて執行率を100%に近づけていきたい。
ク	教職員の多忙化解消を推進する。	・仕事の効率化と業務の見直しを図っていると答える教職員の割合70%以上 ・教職員の夏季休暇取得率100% ・時間外在校時間が削減できたまたは、時間外在校時間はほとんど無いと答える教職員の割合70%以上	・仕事の効率化と業務の見直しを図っていると答えた教職員の割合32.1%。 ・教職員の夏季休暇取得率100%を達成。 ・時間外在校時間が削減できたまたは、時間外在校時間はほとんど無いと答えた教職員の割合は、47.2%。	B	・「仕事の効率化と業務の見直しを図ろうとしている」まで入れると84.9%、時間外在校時間を削減しようとしている」まで入れると83.0%となり、実際に見直しや削減までは至らなかったが、働き方改革への意識は高まったといえる。更に多忙化が解消できたと実感できるよう工夫したい。 ・昨年に続き、夏季休暇取得率100%を達成できた。